



七尾市田鶴浜避難所 生活・組織運営について学ぶ

参加費無料

オンライン
参加も可能

日時 2025年 11月 7日(金) 16:00～18:00

参加登録はこちら



会場 【現地】 京都大学
【WEB】 ZOOM

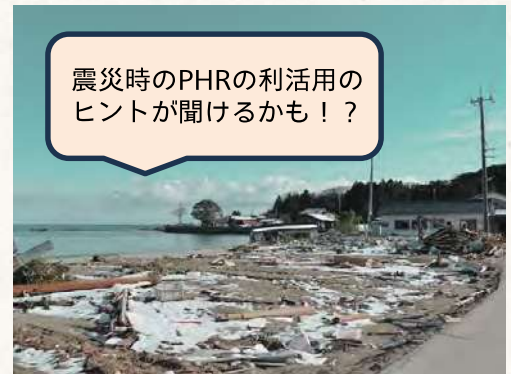
主催 一般社団法人PHR普及推進協議会

能登半島地震における被災と復興

令和6年1月1日、石川県能登地方でマグニチュード7.6の地震が発生し、輪島市などで最大震度7を観測しました。津波や地盤隆起も伴い、約600人が死亡・行方不明、1,200人以上が負傷する甚大な被害となり、住宅や道路、港湾などが大きく損壊しました。復旧は進んでいますが、仮設住宅から恒久住宅への移行や産業再建など課題はなお残されています。

一般社団法人PHR普及推進協議会では、田鶴浜体育館にて、月2回PHR（Personal Health Record：個人が自らの健康・医療情報を管理・活用する仕組み）の測定会を実施しています。災害時の健康管理や情報共有にも役立つPHRは、復興に向けた暮らしの安心を支える可能性があります。

震災時のPHRの利活用の
ヒントが聞けるかも！？



避難所での生活 ～みんなで助け合いの1日～

限られた物資や不便な環境の中でも、声を掛け合い、支え合いながら一日一日を乗り越えていきました。



避難所の様子

避難所はみんなでつくる生活の場
協力し合いながら安心を守ります



炊き出し

栄養補給だけでなく、
“つながり”や“安心感”を
生み出す大切な活動です



支援物資

限られた支援物資の量を
公平に分ける工夫が求められます



災害派遣隊

救出活動含め、被災者の生活を
支える幅広い活動を展開します

避難所での組織運営

避難所では、住民が協力し合い、6つの班に分かれて活動しました。班ごとに責任を持って運営に取り組み、定期的に会議を開いて情報を共有しました。また、食事や物資の配布、清掃や見守りなどを分担し互いに支え合いながら避難所運営を行いました。



避難所運営会議



班分け

講演者のご紹介

能登半島地震の被災を経験し、実際に避難所での生活や運営に携わった講演者の山本 直樹さんに、当時の状況や課題、そして乗り越えてきた工夫についてお話ししていただきます。

限られた環境の中でどう助け合い、どのように住民同士で組織をつくり、生活を支える仕組みを築いていったのか。その過程で生まれた工夫や課題、そして乗り越えるための知恵を共有していただきます。実際の避難所での暮らしを通じたリアルな視点は、これからの防災対策や地域づくりを考えるうえで、きっと貴重なヒントになるはずです。



塩谷建設株式会社
山本 直樹 氏(写真：左)
(田鶴浜未来会議 代表)